



佐藤照彦議員

産業振興

漁協合併の実現見通し

合併に前向きに取り組むことを確認

質問 次の2点を問う。
①新設した産業振興基金は、どう運用されてきたか。弾力的な運用とは。
②漁協合併に伴う今後の協議内容、スケジュール、実現の見通しは。

沼崎町長

①県信漁連に無利子で預託した資金の融資は、今のところ実行されていない。審査の流れの中で、町長が融資対象事業か否かを判断することから、弾力的な運用ができる。
②大沢、山田湾、織笠、大浦の4漁協は、8月27日に開催した合併推進協議会で、21年度内の先行合

併に前向きに取り組むことを意思統一し、現在、専門委員会において合併案の策定に取り組んでいる。今後のスケジュールは、11月に合併協議の経過を組合員に報告し、その後、推進協議会が策定した合併計画案を組合員に説明し、合併総会開催の運びとなる。合併総会で組合員の理解を得て、21年度内の合併を目指すことになる。

協議会では、合併して漁協組織を強化しなければならぬとの共通認識に立ち、前向きに取り組むことを確認している。

福祉・教育

ランチボックス制度の実見込み 早くて21年度2学期から

質問 福祉・教育を問う。
①乳幼児・妊産婦医療費助成の所得制限廃止は20年度か。費用はいくらか。
②保育料軽減率を40%程度に引き上げるのは20年度か。その費用は。

③学校給食（ランチボックス）は、21年度当初から実施できるのか。
沼崎町長
①所得制限の廃止については、21年4月1日からの実施を計画している。こ

れに要する費用は240万円ほど。
②保育料軽減率の引き上げは、21年度からの実施を計画している。その費用額は約4224万円となる。
③21年度当初の実施は難しいと考える。保護者意向調査の分析検討、委託業者選定方法検討などから、早くて21年度2学期からの実施となる。

議員12人が一般質問



お弁当を食べる児童たち（山田南小学校1年生）